

夜のスキマに 逃げ出して



たとえ

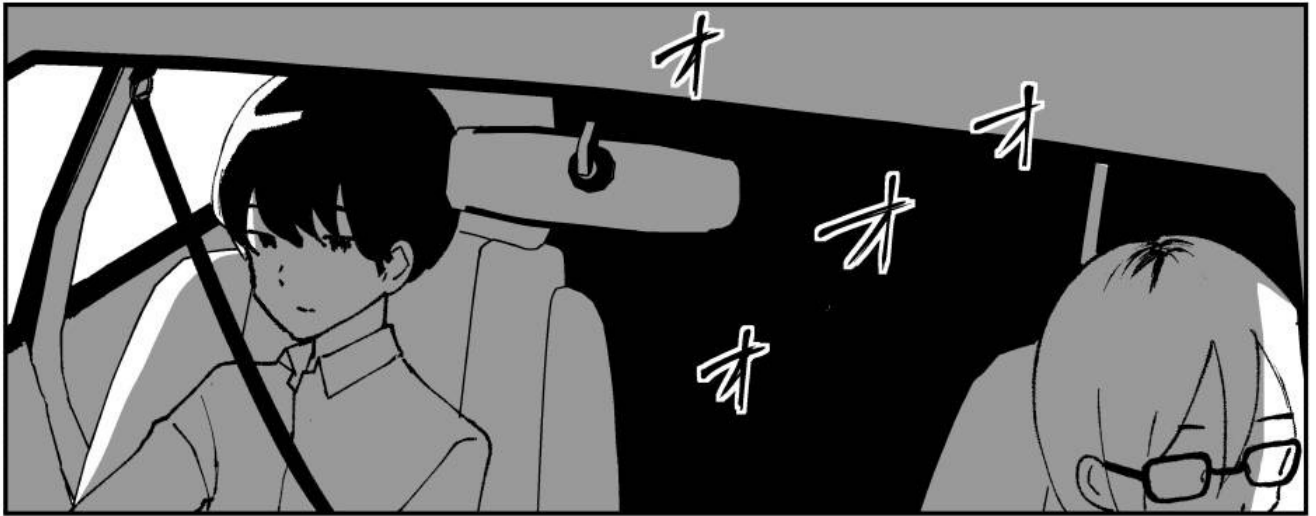
現実から
逃げてるって
言われても

そうしなきゃ
生きていけない
から

presented by HTJM



R18



中学のころ

初恋の人と
こういう所に
来たんです

写真部の
先輩と

工場夜景を
撮ろうって…

子供だけで
夜に遠出するのは
それが初めてで



誰も
いない
夜の中

2人きり

学校からも
家からも
開放されて

すこし
怖くて

でも
わくわくして

どきどきして

忘れられなくて





だから好きです

こういう場所

そう？

よかった



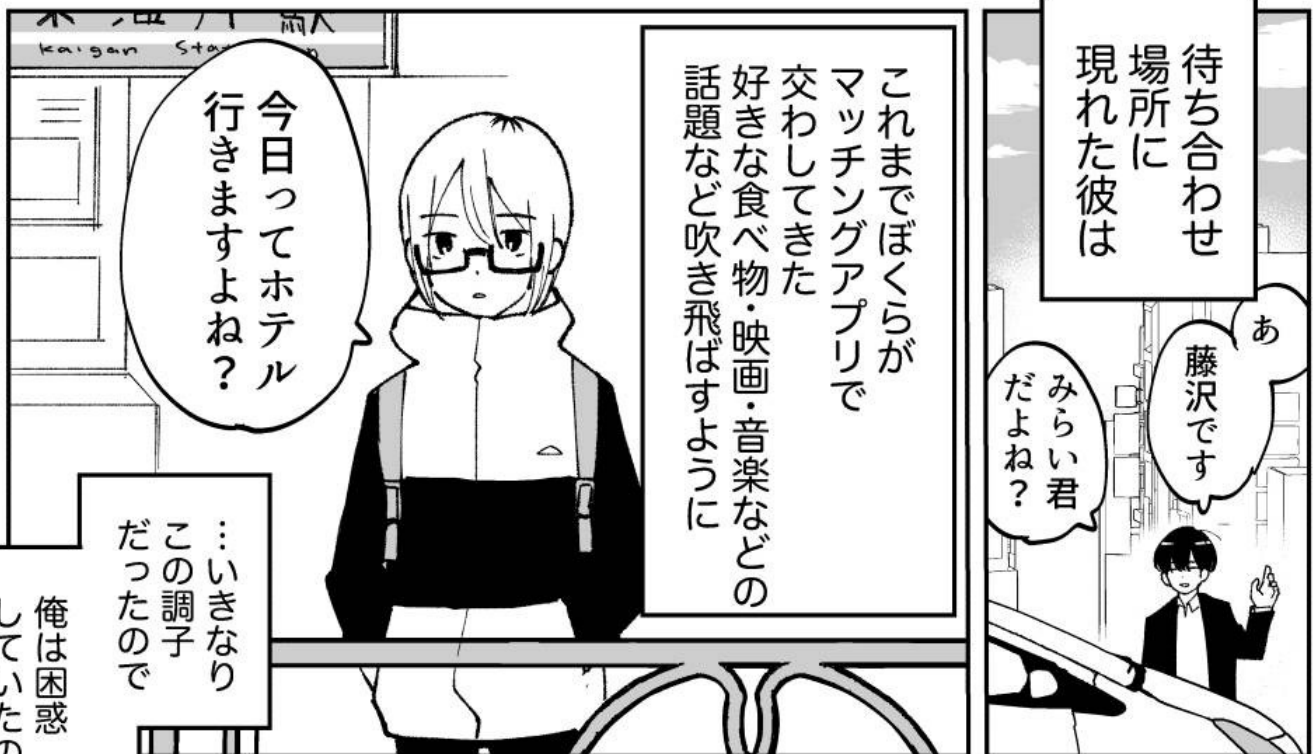
ホテル直行じゃ味気ないと思っ

遠回りしてドライブしたんだ

ありがとうございます
ございます

…よかった

普通の会話
できるじゃん



待ち合わせ場所に現れた彼は

あ
藤沢です

みらい君
だよな？

これまでぼくらがマツチングアプリで交わしてきた好きな食べ物・映画・音楽などの話題など吹き飛ばすように

今日ってホテル行きますよね？

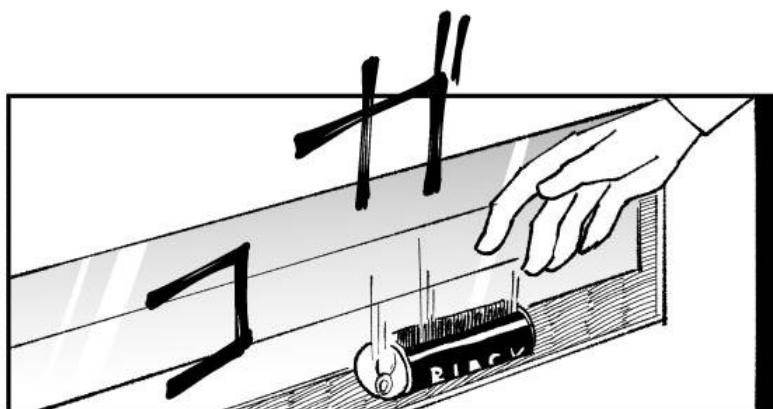
…いきなりこの調子だったの

俺は困惑していたのだ



車窓を流れる
工場地帯の想い出が
やわらかく
照らした

そんな…
宇宙人のような
彼の輪郭を



その
好きだった
先輩とは

で？その後
どうなったの



なんか
飲む？

コーヒーで



でも
いいんです
それで



それで：
連絡するの
やめちゃって

特に
なにも…

卒業してすぐ
彼女ができたって
聞いて



再会した
ところで

俺は先輩に
必要とされてないって
再確認するだけでしょ

それなら

甘い想い出だけ
何度も噛み締めて
いるほうがいい

たとえ

現実から
逃げてるって
言われても

そうしなきゃ
生きていけない
から

日常を
生きのびるために
ときには逃避も
必要だよ



それにさ
意中の人と
添い遂げたって
幸福も
ずっと続けば
いつか
日常になる

知ってた？

人間って
日常の退屈に
耐えられるように
できてないんだよ



だから…

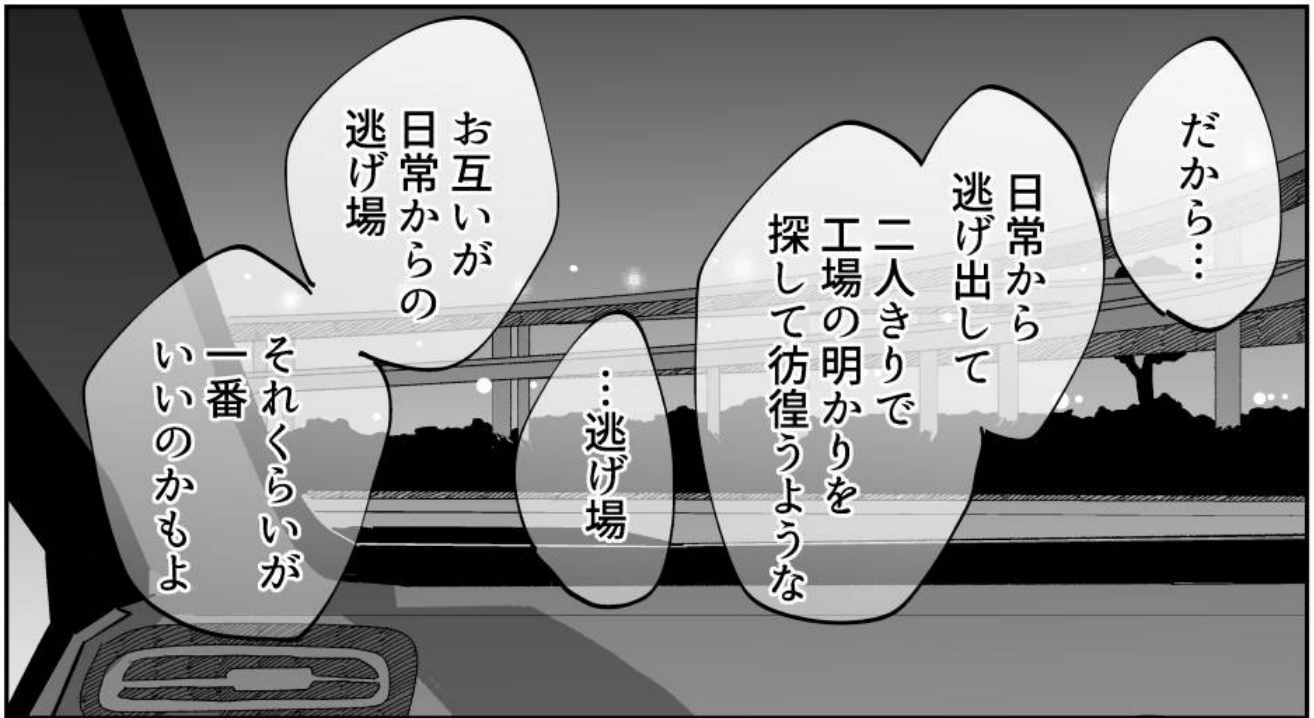
日常から
逃げ出して

二人きりで
工場の明かりを
探して彷徨うような

…逃げ場

お互いが
日常からの
逃げ場

それくらいが
一番
いいのかもよ



…理解を示して
くれたと
考えて大丈夫
ですか

そのつもり



あの

それなら

今日は
お願いが
あって





セックスするとき
このメガネ
かけてほしいんです

うくん
やっぱ変かも
この人



先輩は…
メガネかけてて
あなたみたいに
背が高くって
前髪が長くて…

おれ
身代わりって
こと?

…僕なんかにも
優しく
笑ってくれて…

ぶしつけ
だなあ、

とは
思ったが



貸しを
作るのは
相手より
優位に立てるから
好きだ

「演じる」ことも
わりと得意な
つもりだし

正直
セックス
できるなら
それでいい

それに…





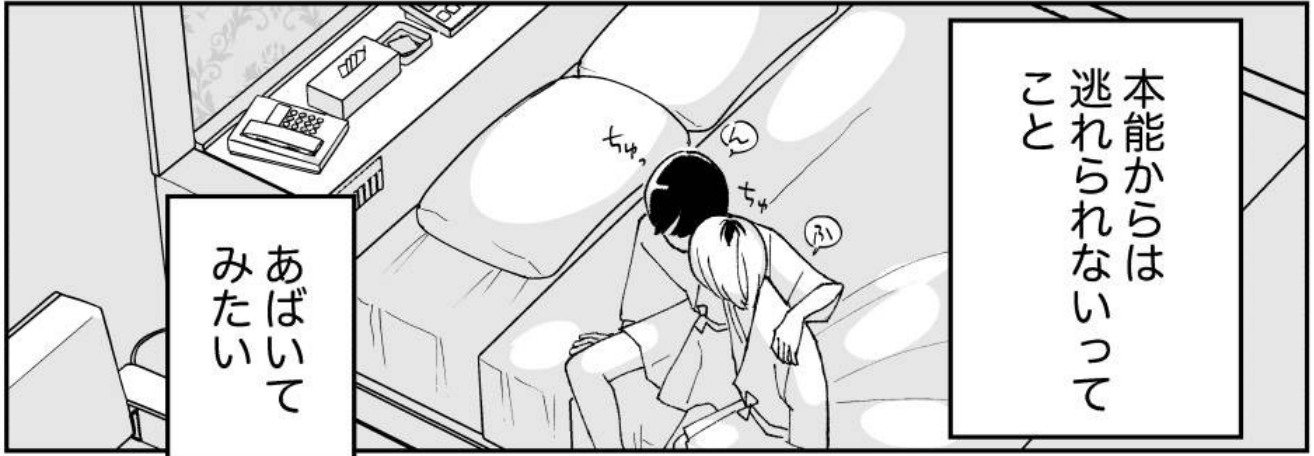




きみだって
人間で
動物で



みーくん
宇宙人
みたいな
彼の中身



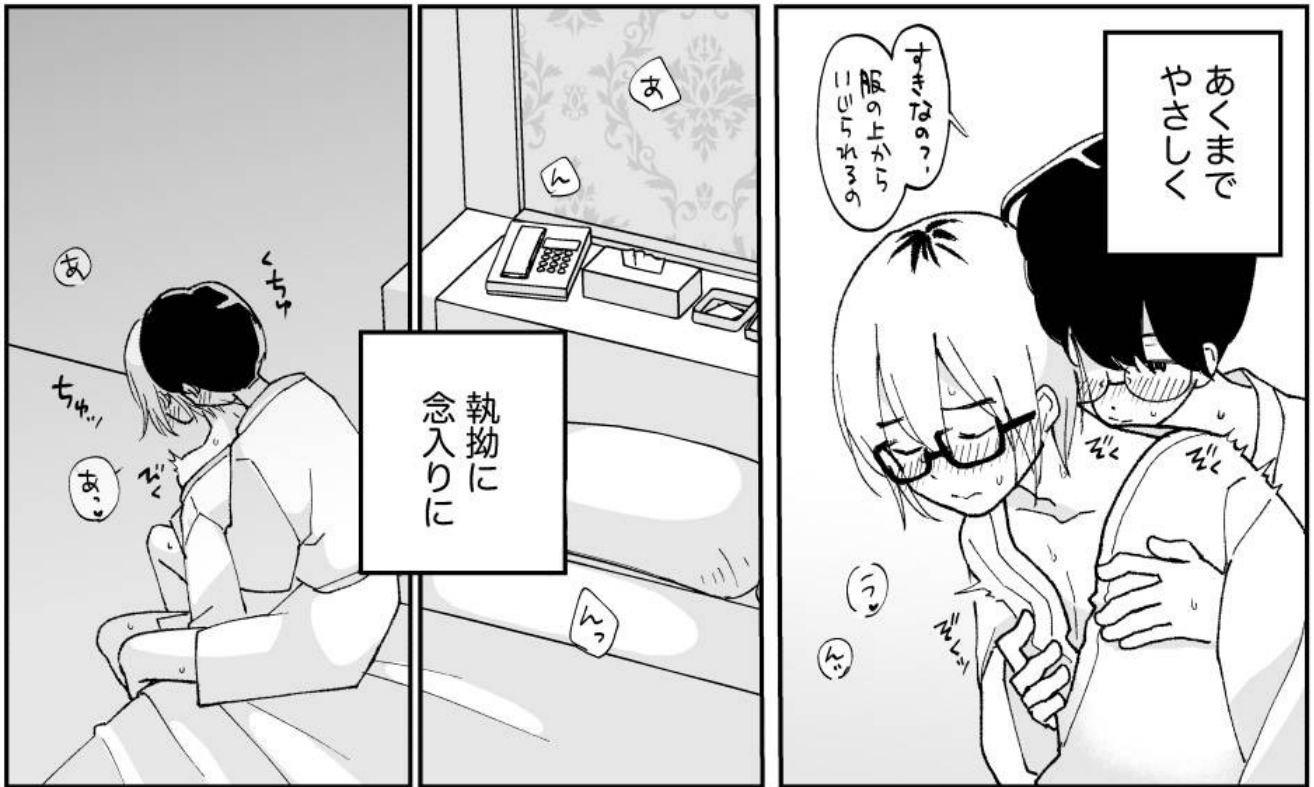
あばいて
みたい

本能からは
逃れられないって
こと



やさしい
「先輩」を
演じてみる

そんな
下卑た
気持ち
を押し
殺して



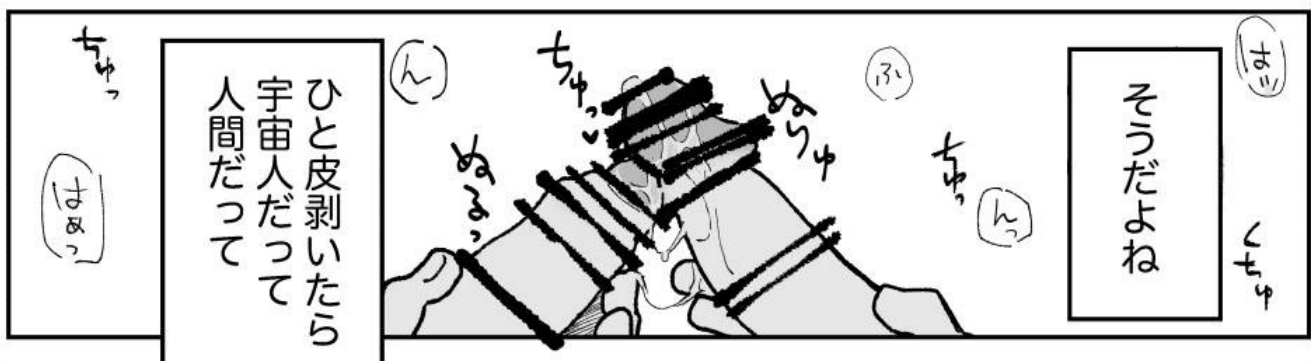


ああ
自分と同じだと

安心する



情けなく
先走りを
にじませる姿に



そうだよ
ね

ひと皮剥いたら
宇宙人だって
人間だって

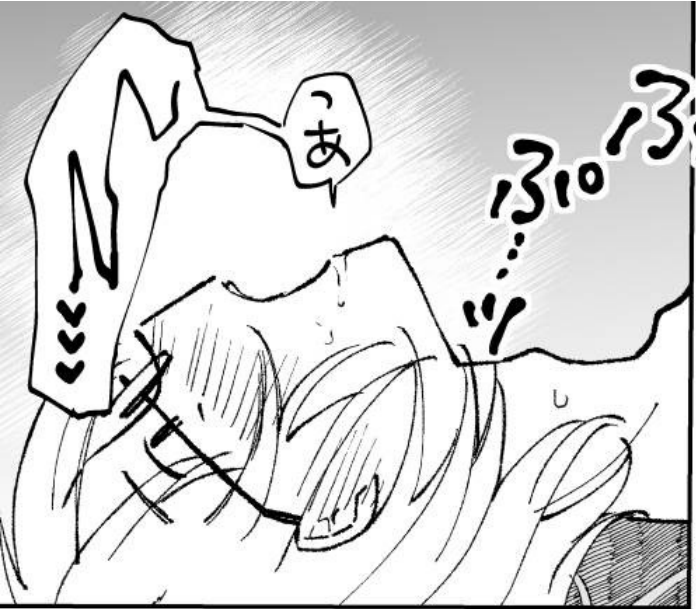


みんな
こうなる



動物だ
同じ
きみも
ぼくも

ああ
よかった



素っ裸で
間抜けに
腰振って

射精のことしか
考えられなく
なつて

はちゅ

はちゅ

はちゅ

はちゅ



は

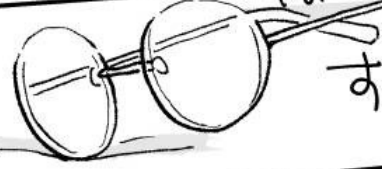
はちゅ

はちゅ

んっ

はちゅ

はちゅ



う

…

はちゅ



は

は

せんぱい

せんぱい…

「先輩」じゃ
いられなく
なつて



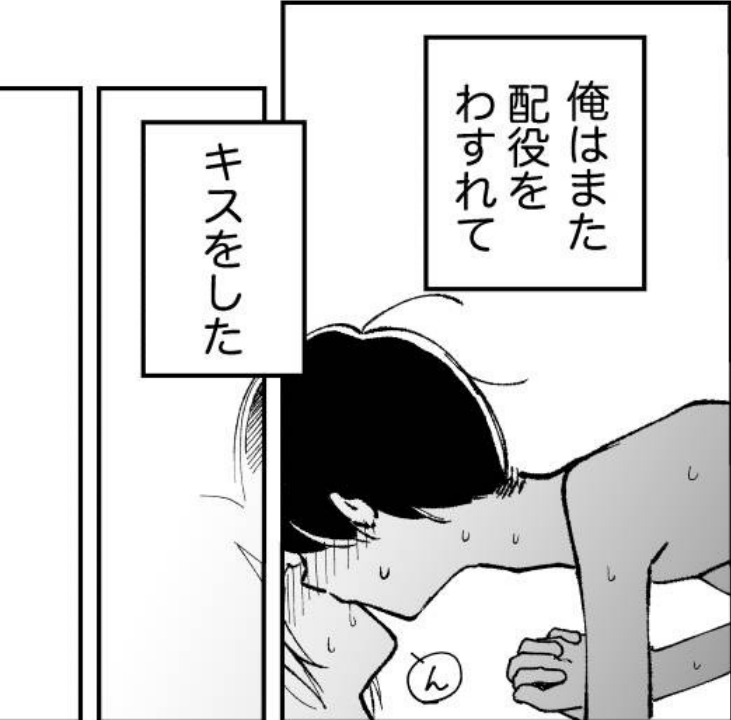
せ…



かわいそうな
みらい君

大好きな
先輩じゃなく
俺なんかと
セックスして
射精しちゃった

「先輩」の
メガネは
ずり落ちて



キスをした

俺はまた
配役を
わすれて



それでも
けなげに
快感を
こらえる姿に





自分が一番
かわいしい

傲慢でいつでも
人を見下してる
君のことだって…

だから
そんな自分は
殺して

他人から
期待された
役割を生きる

そうすれば
嫌われて
傷つかずに
すむ

向上心あふれる
ビジネスマン

孝行息子

スマートで
ものわかりがいい

絶対老害になんて
ならない大人

それでも…
やっぱり…

本能
なのかなあ

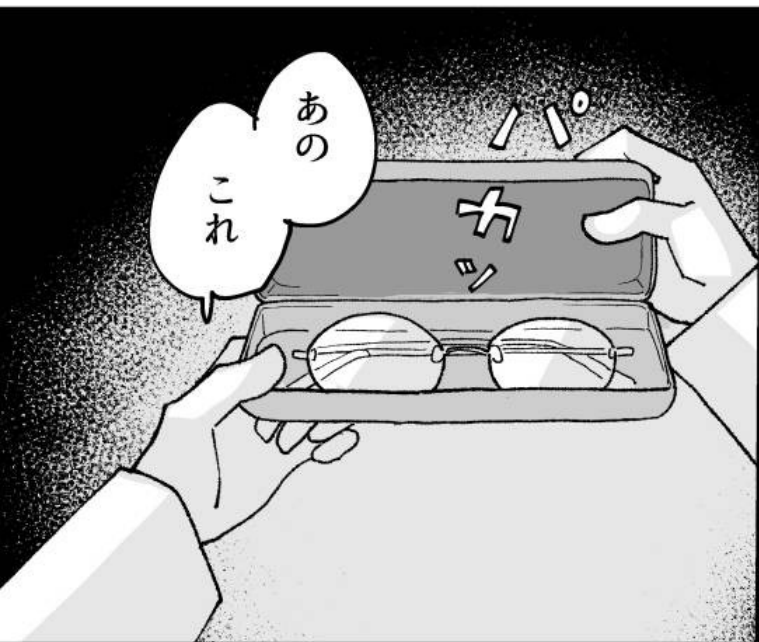
だれかに…

本音を…弱音を
聞いてほしい

ありのままの
醜いおれに
触れてほしい

でも…
醜い自分を
知られたら
嫌われる…

だから 誰かと
深い関係になる
勇気もなくて…





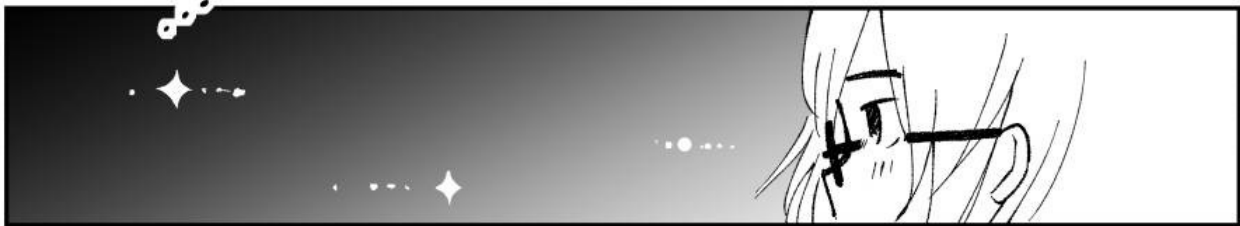




逃げ場なら

俺もちょうど
欲しいと
思ってた

ドドド



不器用な
提案に

思わず
笑みが
こぼれ
：





だめだろ

「逃げ場」に
本気に
なったら



胸の
くすぐったさを
鎮めようと

遠回りして
帰ったせいで

その日は
帰宅が随分と
遅くなって
しまったのだった

読んでくださってありがとうございました！
できれば、続けてもう少し掘り下げたい2人だな…と思いますが
Pixivにも1話だけアップしてそのままになってる漫画あるし…
他に描きたい漫画もあるし…
何から手をつけようか…。

焦点が合わない漫画になってしまった感じはありますが
久しぶりに自分の日常の合間の癒やしとして漫画を描くことができました。

もし気に入ってくださったら、
下のQRコードからweb拍手や感想が匿名で送れますので
送っていただけると励みになります。



拍手URL:

<http://clap.webclap.com/clap.php?id=hitujimaki>

発行日

2025/2/21

発行者

HTJM

pixiv id = 98850980

過去作など

https://linktr.ee/htjm_bl

連絡先

hitujimaki@gmail.com

